

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・菅原戸畑線花香工区などの開通により、集落間の連携・交流が促進された。
②	・大分市の骨格を形成しICへのアクセスを向上させるため、(都)庄の原佐野線下郡工区の測量・設計に着手した。 ・「リボン197協議会」の提言に基づき県都の顔となる国道197号の昭和通り交差点から城址公園までの再編工事を推進した。
③	・バスなび大分やバスロケおおいた、交通系ICカードの広報を行い、県民への周知を行った。また、大分・別府・佐伯地区を対象とした新しいバスロケーションシステムである「バスどこ大分」の整備に対する助成を行い、運用を開始した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(29年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	元年度の方向性	
①	(公)道路改良事業	17,785,480	-	-	245
	道路改良事業	4,044,094	-	-	246
②	街路事業	1,345,400	-	-	247
③	共生のまち整備事業	80,000	-	-	227

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○土木建築委員会への市町村長要望(H30.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路「大分中央幹線道路」(庄の原佐野線)の「下郡工区」の早期完成に向け、整備促進をお願いしたい。 ・国道197号の鶴崎橋、乙津橋4車線化の早期工事着手に配慮をお願いしたい。 <p>○滝尾・明野地区促進期成会からの要望(H30.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路「大分中央幹線道路」(庄の原佐野線)の「下郡工区」の早期完成を強く要望する。 	<p>○大分県商工会議所連合会知事要望(H30.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道197号鶴崎拡幅、並びに国道442号宗方拡幅の早期整備をお願いしたい。
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・国道212号(響峠)や主要地方道中津高田線(今津)など産業・生活を支える道路や、県道古江丸市尾線(葛原～丸市尾)など集落間の連携・交流を支える道路整備を引き続き推進する。 ・大分都市圏をはじめとした都市部において未だ慢性的に渋滞が生じている箇所も多いことから、国道197号(鶴崎拡幅)等の整備を進め渋滞緩和を図る。 ・湯けむり景観を向上させる別府市鉄輪地区の国道500号の無電柱化など、快適な都市空間の形成を図る。 ・ラウンドアバウトによる交差点での安全性の向上や通行の円滑化等により、安全で快適な通行環境をつくるため、社会実験を実施する。